

地域密着型金融推進計画の進捗状況（平成17年4月～平成18年3月）

士別信用金庫

当金庫は、平成17年8月29日地域密着型金融推進計画を策定し、地元の事業者に対する支援目標を掲げ、地域経済の再生に向けて取組みを進めて参りました。本計画における主な取組み事項の本年3月期の進捗状況並びに課題について、以下の通り報告致します。

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化について

- 平成17年度は51企業を経営改善支援先として「金融改革プログラム推進委員会」と「支援チーム」により改善支援を進めてきました。地域経済がさらに低迷を強めるなか、ランクアップは2先の結果となりました。今後についてもランクダウン防止など、より一層の支援強化に努めます。
- 目利き能力・融資能力の向上として、各種手法の定着化・有効活用と人材の育成に取組みました。今後も継続的な取組みにより、一層のスキル向上に努めます。
- 与信取引に係る顧客説明及び相談・苦情処理については、親身でかつわかりやすい説明に取組みました。引き続き適切な対応に努めます。

2. 経営力の強化について

- 収益力の維持・向上に努めました結果、平成18年3月期決算における自己資本比率は14.84%程度と前期末から1.05ポイント上昇しました。
- 厳正な自己査定と適切な償却・引当の実施及び信用リスク管理の強化に努めました結果同決算における不良債権比率は2.3%程度と引き続き健全性を維持しております。
- 各種事業用ローンを積極的に推進しましたが、資金需要の低迷、財務改善、倒産等の要因から、本年3月期の事業性貸出金残高は192億円と、前期末から2億1千8百万円減少となりました。平成19年3月末目標残高200億円へ向けて、引き続き地元事業者の資金ニーズに積極的に取組みします。

* 主な事業用ローンの融資実績（平成17年度）

- ・アタック30 6億3千8百万円
- ・ビジネス活性化ローン 8億2千7百万円

3. 地域の利用者の利便性向上について

- ディスコロージャー誌、ホームページを活用し、地域貢献等についての情報開示と内容の充実に取り組めました。引き続き、積極的な取組みを行って参ります。
- 当金庫に対するアンケート調査の実施により、経営改善に反映しております。また、一般利用者の皆様へのアンケート調査を実施、今後もより多くの「地元の声」に添えて参ります。

以上の通り、本計画の主な取組み結果について取りまとめましたが、当初の計数目標について、当3月末時点において概ね順調であると評価しております。

項目	平成19年3月末目標値	平成18年3月末現在
経営改善支援先数	50先以上	51先
自己資本比率	14%以上	14.84%程度
不良債権比率	3%以内	2.3%程度
事業性貸出金残高	200億円	192億円

地域経済がさらに低迷を強めており、業績低下に苦慮する地元事業者に対し、より深度ある相談業務、より生きた支援ができるよう、今後も役職員一丸となって鋭意取組む所存であります。

なお、より詳細な内容については、「地域密着型金融推進計画の進捗状況（詳細版）」及び「経営改善支援の取組み状況」に記載しております。

以上